

～死と向き合う支援～

臨床宗教師の誕生と役割

東日本大震災を契機に被災者の心の支援を模索する宗教者らの活動から生まれた臨床宗教師。そのスピリチュアルな支援とはいかなるものか。運動の先駆者とともに新たな視点から被災者への“こころの支援”を考える。



1951年、東京生まれ。東北大学文学部、同大学院を修了後、島根大学を経て東北大学文学部助教授(宗教学研究室)同大学院文学研究科教授を経て現在、教養教育院総長特命教授。東日本大震災を機に東北大学の実践宗教学寄付講座を開設し「臨床宗教師」の養成と普及に取り組んでいる。[専門]宗教民俗学・死生学

《講師》 **鈴木 岩弓 氏**

東北大学教養教育院総長特命教授
日本民俗学会会長

2019年

《日時》 **11月7日(木) 17:00-19:00**

《会場》 **日本赤十字看護大学 201講義室**
(東京都渋谷区広尾4-1-3)

入場無料
事前申込不要

問合せ先

日本赤十字国際人道研究センター
Tel: 03-3409-0882
Email: i.h.s@jrc.ac.jp

